

流れ星☆ 光の大きさ数ミリから数デシ

国立天文台「思ったより小さい」

流れ星の「星」の大きさは数ミリ「数デシ」——。こんな分析結果を、国立天文台や東京大学などの研究チームが世界で初めてまとめた。

これまで流星の光の大きさは、一ミリ以下と推測されていたが、正確には分かっていなかった。詳細は十一日、国立天文台のホームページなどに掲載。国立天文台の家正則教授は「思っていたよりも小さい」と話している。

流星は、〇・一ミリから一デシ程度の微粒子が大気圏に突入して発光する。研究チームは、ハワイにある日本の巨大望遠鏡「すばる望遠鏡」で流星を観測した。